

事業概要

(市区町村等の日本語教育の取組への支援・
「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を用いた
「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組)
※様式 1－3 についても別途提出すること

<記載例>

(1) 応募者情報 ※記載が不要な青字箇所は提出時に削除してください。

団体名	〇〇市
-----	-----

(2)「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組の詳細

[illegible]

《「生活」に関する教育プログラムの開発・編成メンバー》					(記載必須*)
	交渉状況*	氏名*	所属*	職名*	期待する役割*
1	承認済	〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
2	未承諾	〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
3	調整中	〇〇 〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
4					
5					
6					
7					
8					
9					

[illegible]

○対象とする「生活上の行為」について

「日本語教育の参照枠」 の到達レベル	想定する学習時間数 (５つの言語活動の総計)
A 1	時間 単位時間
A 2	時間 単位時間
B 1	時間 単位時間
その他 (B 2 以上)	時間 単位時間
合計	時間 単位時間

④当該日本語教育プログラムにおいて展開される学習活動の概要

[illegible][illegible]

○生活・文化・社会的情報の扱い方（開発するコースの中でどのような取扱いを想定しているか記載）	○生活・文化・社会的情報の扱い方（開発するコースの中でどのような取扱いを想定しているか記載）
⑤関連する内容の有無 ※有の場合○を付け、どのようなものを想定するか記載してください。	【 ○ 】日本語能力評価 想定する内容：○ ○ 【 ○ 】人材の育成 想定する内容：○ ○ 【 ○ 】教材 想定する内容：○ ○
⑥ 参照する資料等	【必須】日本語教育の参照枠・参照枠活用のための手引き・生活 Can do ※その他、具体的に記入 ○
7 令和7年度に行う具体的な取組	
【重点】（取組①）「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの開発・提供に向けた実態調査	○ ○ ○
【必須】（取組②）「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの開発・編成・試行	○開発・編成・試行の手順 ○ ○ ○

○試行の予定 ※令和7年度に行わない場合はいつ実施するかを記載。

・時期

・試行の対象となる内容

・方法を記載

【重点】（取組③）「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの教材や評価方法の開発・実施

【その他】(取組④)「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの開発・編成・試行するための人材育成研修の受講・実施

○関わるコーディネーターや日本語教師の研修受講予定について、下記の該当に○を付けてください。

【○】「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】研修[90 単位時間想定]

【 ○ 】 日本語教師【中堅】に対する研修[40 単位時間想定]

【 】地域日本語教育コーディネーター研修[30 単位時間想定]

【 】都道府県・市区町村等日本語教育担当者研修（自治体・国際交流協会職員・コーディネーター対象）

【 】その他の研修（ ）

○団体が実施する研修の予定を記載してください。



Three rows of empty circles for data entry, each row containing 20 circles.

【その他】（取組⑤）「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムを開発・編成・試行の

[illegible]

(3) 評価と検証方法

- 主な取組内容の成果をはかるため、実施計画で設定した目標に対する指標の実績値を記入し、評価を行ってください。
- 現況やこれまでの実績等を考慮し、適切な目標を設定してください。
- 各指標における対象数、または全体数等を明記してください。

[illegible]

--